

# 独立行政法人 教職員支援機構 職員採用情報

【採用予定数】 事務2名以上

【受験資格】 関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験  
第一次試験の合格者

## 【選考】

- 第一次試験 令和3年7月4日(日)  
関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
- 第二次試験 令和3年8月23日(月)～25日(水)(予定)  
面接選考(10時～17時: Zoomによる個人面談)

**第二次試験の受験を希望する方は、郵送又は電子メールにて、8月3日(火)までに、  
当機構人事係へ「職員採用選考調書(指定様式)」をお送りください。**

※8月6日(金)までに、連絡先のメールアドレス宛てに、  
第二次試験の面接日時をお知らせします。

- 最終選考 令和3年9月1日(水)～3日(金)(予定)  
面接選考(場所: つくば駅周辺(詳細未定))

## <参考>

- (1) 職員採用説明会を7月22日(木・祝)に他機関と合同で実施します。(オンライン開催)  
詳細は以下 URL の説明会情報をご覧ください。

関東甲信越地区国立大学法人等採用試験 公式サイト内

<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

- (2) 「仕事紹介ガイドブック2021」の16頁(NITS 職員の紹介ページ)を是非ご覧ください。

関東甲信越地区国立大学法人等 仕事紹介ガイドブック2021

<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/download/>


【問い合わせ先】 独立行政法人教職員支援機構  
本部事務局 総務企画課 人事係  
〒305-0802 茨城県つくば市立原 3  
TEL 029-879-6610,6611  
E-mail [jinji@ml.nits.go.jp](mailto:jinji@ml.nits.go.jp)

次ページより、7月22日（木・祝）の説明会資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

- ・教職員支援機構の事業
- ・勤務地、給与、勤務時間、休暇、福利厚生について
- ・よくいただくご質問について
- ・NITS理事長 荒瀬克己より



独立行政法人教職員支援機構

 独立行政法人教職員支援機構

## 教職員支援機構（NITS：ニッツ）の事業

全国の教職員の資質向上を図るため、

全国の教職員への総合的支援を行う中核拠点となり、

- 1) 教職員に対する研修の実施
- 2) 研修コンテンツの配信
- 3) 教職員の資質向上に関する調査研究
- 4) 教員免許に関する事業 など

を実施しています。

詳しくは、教職員支援機構ホームページ (<https://www.nits.go.jp>) をご覧ください !!

 独立行政法人教職員支援機構

# 勤務地について

本部事務局・つくば中央研修センター

(所在地：茨城県つくば市)

「秋葉原駅」から「つくば駅」まで、  
つくばエクスプレスで最短45分  
→ 「つくば駅」から「NITS」までバスで15分



東京事務所

(所在地：東京都千代田区)

「神保町駅」から徒歩3分

東京駅からも徒歩圏内です



**NITS** 独立行政法人教職員支援機構

## 給与、勤務時間、休暇について

- 初任給：大卒 約211,300～218,600円 ※地域手当を含む
- 諸手当：通勤、住居、扶養、超過勤務手当等が支給されます
- 昇給：年1回（1月1日）
- 賞与：年2回（6月、12月）
- 勤務時間：つくば 8：30～17：15 ※各人の状況により、前後1時間程度、  
東京 9：00～17：45 早出・遅出への勤務時間に変更も可能
- 休暇制度：休日：土日祝日、年末年始  
休暇：年次有給休暇（1年間につき20日間付与）  
（4月に新規採用の場合15日間）  
特別休暇（リフレッシュ（連続3日）、結婚、出産、忌引き、  
ボランティア休暇等）  
病気休暇（病気等により、療養が必要な場合）  
産前産後休業、育児休業、介護休業等

# 福利厚生について

- 各種保険等 : 文部科学省共済組合に加入  
雇用保険、労災保険に加入
- 健康診断 : 年に1回実施  
その他、人間ドック（年齢の制限あり）受診費の一部補助
- 住居 : 宿舍の提供あり
- その他 : 文部科学省共済組合の福利厚生制度が利用できます。

## よくいただくご質問について

Q1) 「つくば」と「東京事務所」の職員数、男女比を教えてください。  
勤務地や配属先はどのように決まるのでしょうか？

⇒ 職員数は「つくば」に55人ほど、「東京事務所」に15人ほどで、男女比は概ね同率です。  
勤務地や配属先は、様々な経験を積むために、本人の希望も踏まえつつ、数年ごとの人事異動によって変わります。

Q2) 教員免許の所持や、教育に関する専門知識が必要ですか？

⇒ 採用時点では教育に関する専門知識は必須ではありませんが、仕事を行っていく上で必要となるため、採用後に職務に必要な研修を受けたり、仕事をしながら（OJT）身に付けることとなります。

# NITS 理事長 荒瀬克己より

社会が大きく変化する中、また、度重なる自然災害や、新型コロナウイルス感染症の拡大といった経験したことのない状況の中で、子供たちそれぞれが、未来に向けて試行錯誤を重ねています。教職員は、その伴走者として、これまでの実績の蓄積を振り返りつつ継続的に学び続けていくことが求められています。

NITSは、学校を子供たちにとって意味のある学びの場とするために、教職員に対してどのように支援できるかを考え、取り組んでいかなければなりません。

中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（R3.1.26答申）」には、「一人一人の子供を主語にする学校教育の目指すべき姿」が描かれています。一人一人の子供を主語にする学校を作るためには、一人一人の教職員が、さらには、一人一人のNITS職員が主語になり、やりがいをもって実行していく必要があります。

全国の教職員へのよりよい支援を行うためには、まずは、NITSが安心、信頼、満足できる職場でなければなりません。気づいたことを言い合える風通しのよい組織を作って、教職員の資質向上のための事業を全国に提供していけるようにと願っています。

NITSと一緒に働きませんか。